

# 部落解放研究第49回全国集会開催要綱案

## 【集会テーマ】

「同和対策審議会」答申50年をふまえ、人権・平和・環境を基軸にした部落解放運動の新たな展望を切り拓く理論研究と実践交流をすすめよう。

【日 時】 2015年11月10日(火)～12日(木)

【会 場】 大分県別府市. ビーコンプラザ コンベンションホールほか  
〒874-0828 大分県別府市山の手12-1 ☎ 0977-26-7111

【規 模】 6,000人

【参加対象】 ①部落解放運動・研究にかかわる研究者・労働者・市民・宗教者・企業関係者・学生など。  
②部落解放をめざす行政・教育関係者および各級議員。  
③部落解放同盟の活動家をはじめとする部落大衆。

【参加費】 4,000円(参加・資料費)  
※フィールドワーク参加費は別途参加費が必要です。

## 【参加申し込みについて】

- ①各団体で参加者の集約を行っていただき、部落解放同盟の各都府県連合会にお申し込みください。
- ②個人等、一般で参加される方もお住まいの地域の部落解放同盟各都府県連合会にお申し込みいただくか、部落解放同盟中央本部にお申し込みください。
- ③参加・資料費の振り込みは、部落解放同盟各都府県連から一括で下記の口座へお振り込みをお願いいたします。

<振り込み先> りそな銀行 桜川支店  
普通預金 0426304  
名義：部落解放同盟中央本部(全研)

## 【参加割当】

| 都府県 | 人 数 | 都府県 | 人 数 | 都府県 | 人 数 | 都府県   | 人 数  |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|------|
| 東 京 | 250 | 静 岡 | 5   | 和歌山 | 230 | 高 知   | 70   |
| 埼 玉 | 120 | 愛 知 | 80  | 大 阪 | 350 | 愛 媛   | 10   |
| 群 馬 | 80  | 岐 阜 | 60  | 兵 庫 | 300 | 福 岡   | 550  |
| 栃 木 | 60  | 三 重 | 70  | 岡 山 | 40  | 大 分   | 2000 |
| 千 葉 | 40  | 富 山 | 10  | 広 島 | 80  | 長 崎   | 70   |
| 神奈川 | 60  | 石 川 | 10  | 山 口 | 20  | 熊 本   | 120  |
| 山 梨 | 5   | 福 井 | 15  | 鳥 取 | 120 | 佐 賀   | 100  |
| 長 野 | 50  | 滋 賀 | 200 | 島 根 | 20  | 宮 崎   | 70   |
| 新 潟 | 10  | 京 都 | 250 | 徳 島 | 70  | 鹿 児 島 | 70   |
| 福 島 | 5   | 奈 良 | 300 | 香 川 | 70  |       |      |

【主 催】 部落解放研究第49回全国集会中央実行委員会

## 【中央実行委員会構成団体】

公益社団法人全国人権教育研究協議会／部落解放中央共闘会議／全国大学同和教育研究協議会  
一般社団法人部落解放・人権研究所／『同和問題』にとりくむ宗教教団連帯会議  
同和問題に取り組む 全国企業連絡会／部落解放同盟中央本部／地元(大分県)実行委員会  
(順不同)

## 【地元実行委員会構成団体】

【プログラム】

|       |           |   |
|-------|-----------|---|
| 1日目   | 11月10日(火) | 全体集会(コンベンションホール/6000人)  |
| 12:00 | 受付        |   |
| 13:30 | 開会        |   |
| 13:35 | 主催者代表挨拶   |   |
| 13:40 | 現地実行委員長挨拶 |   |
| 13:45 | 地元県連委員長挨拶 |   |
| 14:00 | 来賓挨拶・紹介   |   |
| 14:20 | 地元報告      | 大分県における部落差別の現状と部落解放運動の課題<br>吉富博見(部落解放同盟大分県連合会書記長)   |
| 15:00 | シンポジウム    | 「同和对策審議会」答申50年とこれからの部落解放運動<br>◆小森龍邦(部落解放同盟広島県連合会顧問/元中央書記長)<br>◆川口正志(部落解放同盟奈良県連合会執行委員長/元中央執行副委員長)<br>◆大賀正行(部落解放・人権研究所名誉理事/元中央執行委員)<br>◆西島藤彦(部落解放同盟中央書記長)<br>◆奥田均(部落解放・人権研究所代表理事) |
| 16:50 | 事務連絡・閉会   |   |

|     |           |              |          |       |    |
|-----|-----------|--------------|----------|-------|----|
| 2日目 | 11月11日(水) | 分科会・フィールドワーク |          |       |    |
| 分科会 | 9:00      | 受付           | フィールドワーク | 9:00  | 集合 |
|     | 9:30      | 開会           |          | 9:30  | 出発 |
|     | 16:00     | 閉会           |          | 17:00 | 解散 |

|       |           |   |
|-------|-----------|---|
| 3日目   | 11月12日(木) | 全体集会(コンベンションホール)  |
| 9:00  | 受付        |   |
| 9:30  | 開会        |   |
| 9:35  | 記念講演      | 「戦後70年とこれからの日本を考える」<br>◆村山富市氏(元内閣総理大臣)  |
| 10:40 | 映画上映      | 「人間みな兄弟」製作年：1960年/上映時間：60分/白黒<br><br>製作：日本ドキュメントフィルムほか<br>監督：亀井文夫<br>原作：杉浦明平<br>撮影：菊地周/録音：大橋鉄矢/音楽：長沢勝俊/ナレーション：宮田輝 |
| 11:50 | 閉会        |   |

☆本作の撮影は1959年から、50か所を超える地域でおこなわれ、翌1960年に完成、公開された。部落問題に関する映画の製作については、これより前から構想されていた。「道がある。その道が細くなったところに部落がある」という導入のカットは、まさに「被差別部落」という場所に対する“まなざし”を意識させる。監督の亀井文夫は、「戦ふ兵隊」(1939年)、戦後の「生きていてよかった」(1956年)、「流血の記録 — 砂川」、「世界は恐怖する — 死の灰の正体」(1957年)などの作品がある。

【フィールドワーク申し込みについて】

- ①フィールドワークの申し込みは、別紙「宿泊&弁当・フィールドワークのご案内」をご参照いただき、お申し込みください。
- ②フィールドワーク参加費は、集会参加費とは別料金になります。
- ③フィールドワークの参加費(バス・昼食代ほかを含む)は、4,000円(予定)です。
- ④フィールドワークは、定員に限りがありますので、ご了承ください。

【宿泊・お弁当申し込みについて】

- ①宿泊につきましては、ランク別の料金設定になります。
- ②お弁当、宿泊の申し込み等詳細につきましては、別紙「宿泊&弁当・フィールドワークのご案内」をご参照いただき、お申し込みください。

【分科会内容】11月11日(水) 9:30~16:00 (受付9:00~)

## 第1分科会 部落史・部落解放運動入門

■コンベンションホール(1000人)

<午前の部>

☆大分県の部落史を学ぶ

司会：  
講師：一法師英昭(大分県立爽風館高校)

<午後の部>

☆シンポジウムーこれからの部落解放運動を考えるー

- ◆宮内礼治(部落解放同盟鹿児島県連合会書記次長)
- ◆宮崎懐良(部落解放同盟長崎県連合会書記長)
- ◆和田なつき(部落解放同盟大阪府連合会青年部長)
- ◆赤井隆史(部落解放同盟中央書記次長)

## 第2分科会 同和行政・人権行政

■社会教育総合センター 多目的ホール(250人)

【テーマ】

- ①「同和对策審議会」答申から50年をふまえ、あらためて答申が求めたものが何だったのかを学ぶ。とりわけ答申が求めた差別の法規制の必要性について、今日の差別の実態をふまえた取り組みの方向、課題を考える。
- ②特別対策の終了後、残された課題を一般対策で解決することになったが、「生活困窮者自立支援法」をどう課題解決に役立てるのかを考える。

<午前の部>

講演①「『同対審』答申が求めたもの～差別の規制救済を考える」  
◆西島藤彦(部落解放同盟中央書記長)

講演②「差別の実態と差別禁止法の必要性」  
◆内田博文(神戸学院大学法科大学院)

<午後の部> 「生活困窮者自立支援法を部落問題の解決にどう役立てるのか」

報告①生活困窮者自立支援法の概要と全国の取り組み

◆  
報告②大阪の同和地区を中心とした相談支援の現状と課題  
◆福原宏幸(大阪市大大学院)

## 第3分科会 同和教育・人権教育

■国際会議場（300人）

### 【テーマ】

①同和教育・人権教育の実践報告を通して、これからの取り組み課題を考える

#### <午前の部>

報告①「大分における同和教育・人権教育の実践と今後の課題」  
◆（公益社団法人 大分県人権教育研究協議会）

報告②  
報告③

#### <午後の部>

報告④「地域の教育力の向上にむけて」  
◆（文部科学省）

☆シンポジウム「地域の教育力と同和教育・人権教育の発展をめざして」  
◆全国人権教育研究協議会  
◆日本教職員組合  
◆部落解放同盟

## 第4分科会 人権啓発

■フィルハーモニーホール（1100人）

### 【テーマ】

①全国で自治体を実施した市民意識調査の結果や課題の報告を通して、差別意識の共通性や独自性を明らかにし、今後の啓発課題を考える。

#### <午前・午後の部>

報告①「人権に関する県民意識調査結果（2013）について」  
◆（佐賀県くらし環境本部人権同和対策課）

報告②「人権についての県民意識調査（2013）について」  
◆（鹿児島県総務部県民生活局人権同和対策課）

報告③「人権に関する県民意識調査結果（2012）について」  
◆（高知県文化生活部人権課）

報告④「人権に関する県民意識調査調査結果（2013）について」  
◆（兵庫県健康福祉部社会福祉局人権推進課）

報告⑤「人権に関する県民意識調査結果（2014年）について」  
◆（大分県生活環境部人権・同和対策課）

問題提起とまとめ

## 第5分科会 冤罪事件を考える

■ 中会議室 (160人)

【テーマ】「狭山事件の再審にむけた現状と司法民主化の課題」

- ①狭山事件の真相、石川一雄さんの無実の証拠、第3次再審請求の三者協議や証拠開示などの動きについて学習し、狭山事件の再審をひらくための取り組みを考える。
- ②狭山事件、布川事件、足利事件、志布志事件、袴田事件などの冤罪事件の実態を通して、冤罪・誤判を生み出す社会、刑事司法、メディア等の問題点を明らかにするとともに、冤罪・誤判をなくすための課題を考える。
- ③代用監獄や人質司法、検察官、裁判官のありかたなどの問題点を考え、誤判・冤罪をなくすための司法改革の課題を考える。
- ④取調べの全過程の可視化、公正な証拠開示の法制化を具体化するための課題、運動について考える。
- ⑤国際人権自由権規約など国際人権法や人権基準、各国の司法制度に学び、日本における司法改革の課題を考える。

<午前の部・午後の部>

報告①「狭山事件の再審にむけた取り組みについて（弁護団報告）」

◆中山武敏（狭山事件再審弁護団主任弁護士）

報告②「狭山事件の再審をかちとるために」

◆石川一雄（狭山事件再審請求人）

報告③「みどり荘事件無罪判決20年から学ぶもの～冤罪事件と人権を考える」

◆徳田靖之（弁護士）／菅家利和（足利事件冤罪被害者）

司会：小野寺一規（部落解放同盟埼玉県連合会書記長）

## 第6分科会 差別事件の現状と今後の課題

■ レセプションホール (900人)

【テーマ】

- ①インターネット上の差別書込み、差別情報の氾濫をはじめ、今日的な差別事件の特徴と取り組みの課題を考える。
- ②土地調査差別事件、問い合わせ事件や戸籍等大量不正取得事件などの取り組みを通して、人権侵害被害防止策の現状について考える。

報告①「学校リーダー育成特別講座差別事件の取り組み」

◆部落解放同盟東京都連合会

報告②「差別ビラ大量配布事件の取り組み」

◆部落解放同盟大阪府連合会

報告③「同和地区の所在地情報の公開をめぐる裁判について」

◆滋賀県総合政策部人権施策推進課

報告④「本人通知制度の全国的な取り組み状況と今後の課題」

◆部落解放同盟中央本部

報告⑤「大分県における差別事件の取り組み状況と今後の課題」

◆部落解放同盟大分県連合会

司会・まとめ 北口末廣（部落解放同盟中央執行副委員長）

# 第7分科会 人権の法制度確立にむけた課題

■小会議室（150人）

## 【テーマ】

- ①女性差別撤廃条約の批准から30年を迎えるなか、部落女性が自らの実態把握に取り組んできたアンケート調査の結果を通して、男女平等社会実現にむけた取り組み課題を明らかにする。
- ②障害のある女性の生活実態調査から明らかになった複合差別の現状を学び、今後の課題を考える。
- ③ヘイトスピーチ規制の取り組みを通して、差別禁止法制度のあり方を考える。
- ④国連人権条約機関からの勧告などを生かす取り組みを通して、今日的な日本の人権状況を明らかにする。

- 報告①「部落女性の実態調査結果から見えてきたもの」  
◆山崎鈴子（部落解放同盟中央執行委員／中央女性運動部長）
- 報告②「障害のある女性の生活困難～複合差別実態調査報告」  
◆藤原久美子（DPI女性障害者ネットワーク）
- 報告③「『人種差別撤廃基本法』制定をめぐる取り組み報告」  
◆師岡康子（外国人権法連絡会運営委員／弁護士）
- 報告④「『国連人権条約機関からの勧告をめぐる日本の人権状況』」  
◆和田献一（部落解放同盟中央執行委員／国際連帯部長）